

文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内・参加者募集

●文化資源担当室(文京ふるさと歴史館)

史跡めぐり「金沢ゆかりの文人たち」(仮)

日時・ルート等が決まりましたら、区報・ホームページ等で募集します。

歴史講演会

文京ゆかりの文化人に関する講演会を予定しています。区報・ホームページ等で募集します。

特別展「川と人と水道と 神田上水・千川上水と文京」(仮)

会 期：令和6年10月26日(土)～12月8日(日) (予定)

徳川家康の江戸入りと同時に、近世都市・江戸のまちづくりが行われ425年。現代都市・東京は、この江戸の町を礎に発展してきました。神田・玉川両上水は江戸の人々の生活に欠かせない都市用水でした。また昨年令和5年には、近代水道が敷設され125年の節目を迎えました。わたしたちの生活に欠かすことのできない飲料水や生活用水を供給する、近世の上水、近代の水道の歴史を紹介します。この特別展は玉川上水の展示を開催する新宿歴史博物館と、江戸時代～近代期の上水、水道資料を展示する東京都水道歴史館との連携企画です。

会 場：文京ふるさと歴史館 地下1階企画展示室

入場料：100円(20人以上の団体70円) ※11月3日(日・祝)は無料公開日

付帯事業：史跡めぐり・記念講演会・3館合同スタンプラリー

詳細決定後、区報・ホームページ等でお知らせします。

問合せ：文京ふるさと歴史館 〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29

TEL 03-3818-7221

開館時間：10時～17時

入館料：100円

休 館 日：月曜(祝日の場合は翌日)、第4火曜日、年末年始

※中学生以下・65歳以上・友の会会員、身体障害者手帳等提示の方と介護者1人は入館料無料

朗読コンテスト(主催：文京区 主管：跡見学園女子大学)

日 時：令和6年11月3日(日・祝) 13時～16時

会 場：跡見学園女子大学プロツサムホール(文京区大塚1-5-2)

課題作：金沢ゆかりの文人の作品(徳田秋聲、泉鏡花、室生犀星、井上靖、五木寛之、桐野夏生)

参加者・観覧者募集等詳細は、区報・ホームページ等でお知らせします。

問合せ：跡見学園女子大学文京キャンパス事務室 朗読コンテスト係 [E-mail] roudoku@atomi.ac.jp

●アカデミー推進課文化事業係

令和6年度文京区企画展「生誕120年 菅沼金六展」(仮称)

文京区に40年以上在住し、流麗な筆致と大胆かつ繊細な色彩で女性美を追求し続けた洋画家、菅沼金六(1904-1988)は、油彩画や水彩画の制作にとどまらず、わが国はじめてのファッションデザイン画の技法書の執筆や、雑誌の表紙、ポスターデザインなども手掛け幅広く活躍しました。生誕120年を記念し、菅沼金六の作品を紹介します。

会 期：令和7年2月6日(木)～13日(木) 10:00～18:00

会 場：文京シビックセンター1階 ギャラリーシビック

入場料：無料

問合せ：アカデミー推進課文化事業係 〒112-8555東京都文京区春日1-16-21 TEL 03-5803-1120

令和6年度 文の京ゆかりの文化人顕彰事業

令和6年(2024)7月2日発行

編集・発行：文京区アカデミー推進部アカデミー推進課

文化資源担当室(文京ふるさと歴史館)

〒113-0033 東京都文京区本郷4-9-29 TEL 03-3818-7221

https://www.city.bunkyo.lg.jp/rekishikan/index.html

印刷物番号 D0124005



文の京ゆかりの文化人顕彰事業 関連事業案内

●森鷗外記念館

コレクション展「鷗外の『意地』のはなし—歴史小説『阿部一族』を中心に—

文京区の友好都市である熊本にゆかりのある作品『阿部一族』を中心に、鷗外の初期歴史小説を紹介します。

会 期：令和6年7月5日(金)～10月6日(日)

休館日：7/22・23、8/26・27、9/24・25

観覧料：300円(20人以上の団体240円)

8月3日(土)は区民無料開館日(文京区内在住・在勤・在学者対象、要身分証明書)です。当日は20時まで開館します(最終入館19時30分)。

●7月9日(火)は鷗外忌

・当日は9時から開館し、展覧会を観覧された方にオリジナルしおりをプレゼント。

・鷗外忌を記念して、常設コーナーにて遺言書の実資料を展示します。

会 期：令和6年7月5日(金)～7月31日(水)

休館日：7/22・23

観覧料：300円

※コレクション展とあわせてご覧いただけます。



鷗外『阿部一族』(「中央公論」28年1号 大正2(1913)年1月)

特別展「葉書の世界～文人・美術家・ジャーナリスト(仮称)」

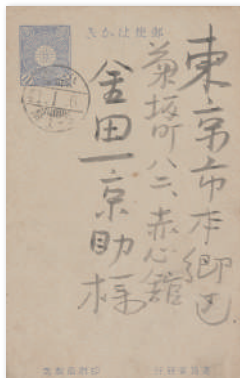
鷗外筆を含め、明治から昭和にかけての文学者、美術家、ジャーナリストなど、新収蔵の葉書コレクションを一挙公開。時代を超えて伝わる直筆による温かみある交流をご覧ください。

会 期：令和6年10月12日(土)～令和7年1月13日(月・祝)

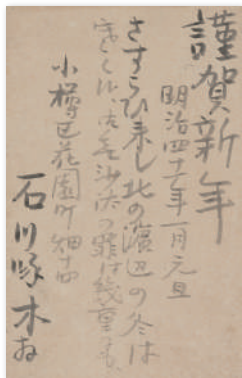
休館日：10/22、11/26、12/23・24、12/29～1/3

観覧料：600円(20人以上の団体480円)

※11/1の開館記念日は、展覧会観覧者全員にポストカードをプレゼント。



石川啄木筆 金田一京助宛年賀状 明治41(1908)年1月1日 盛岡中学の先輩だった金田一京助(言語学者)は、啄木のよき理解者だった。



コレクション展「小金井家の人々と鷗外(仮称)」

鷗外の妹・喜美子の婚家である小金井家の人々を紹介します。

会 期：令和7年1月18日(土)～3月30日(日) (予定)

休館日：1/27・28、2/25～27、3/24・25

観覧料：300円(20人以上の団体240円)

※1/19の鷗外誕生日は無料観覧日です。

問合せ：文京区立森鷗外記念館 〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4

TEL 03-3824-5511 https://morigai-kinenkan.jp

開館時間：10時～18時(最終入館17時30分)

※中学生以下、障害者手帳提示の方と介護者1人は観覧料無料

※ふるさと歴史館・森鷗外記念館 相互割引のお知らせ(入館1回につき1回限り)

- 歴史館入館券、友の会会員証、歴史館パンフレット(押印あり)提示 → 森鷗外記念館観覧料が2割引
- 森鷗外記念館入館券、鷗外バス提示 → 歴史館の入館料が団体料金適用

さまざまな分野の文化人が足跡を残した地・文京。ゆかりの文化人を顕彰し、文京区の多様な文化的資源を広く発信します。今年度は、友好交流都市協定締結から五周年を迎える石川県金沢市と文京区にゆかりある徳田秋聲、泉鏡花、室生犀星、竹久夢二、また、相互協力に関する協定締結から五周年を迎える熊本県玉名市と文京区にゆかりある金栗四三、夏目漱石を顕彰します。



竹久夢二



徳田秋聲



金栗四三



泉鏡花



夏目漱石



室生犀星

【令和6年度】



石川県金沢市とのつながり

東京大学本郷地区キャンパスは、かつて加賀藩前田家の江戸屋敷があった地です。また、金沢市と文京区双方にゆかりある文豪や画家の旧居などがあること、加賀宝生のルーツである宝生流の能楽堂が区内にあることなど、歴史的・文化的つながりが深くあります。毎年、金沢の歴史文化を学ぶ「かなざわ講座」や金沢の雪氷を文京区に贈呈していただくイベントなど幅広く交流をしています。

熊本県玉名市とのつながり

日本人初のオリンピック選手として、近代日本スポーツの発展において多大な功績を残した金栗四三は玉名市で少年時代と後半生を過ごし、文京区で青春時代を過ごしました。また、文京区に旧居のあった夏目漱石作「草枕」の舞台の一つが玉名市です。玉名市はミニトマト生産量日本一であることから、ミニトマトの苗の植付けを行う連携事業を実施しています。

令和6年に記念の年を迎える主なゆかりの文化人

安部公房	作家	[1924-1993]	生誕100年
伊藤左千夫	作家	[1864-1913]	生誕160年
伊東忠太	建築家	[1867-1954]	没後 70年
井上哲次郎	哲学者	[1856-1944]	没後 80年
上田敏	詩人・評論家	[1874-1916]	生誕150年
江戸川乱歩	作家	[1894-1965]	生誕130年
小泉八雲	作家	[1850-1904]	没後120年
幸田文	作家	[1904-1990]	生誕120年
小金井良精	解剖学者・人類学者	[1859-1944]	没後 80年
斎藤緑雨	作家	[1867-1904]	没後120年
佐藤春夫	作家	[1892-1964]	没後 60年
菅沼金六	洋画家	[1904-1988]	生誕120年
高浜虚子	俳人	[1874-1959]	生誕150年
高峰譲吉	化学者	[1854-1922]	生誕170年
高村光雲	彫刻家	[1852-1934]	没後 90年
竹久夢二	画家・詩人	[1884-1934]	生誕140年 没後 90年

長原孝太郎	画家	[1864-1930]	生誕160年
花柳章太郎	俳優	[1894-1965]	生誕130年
二葉亭四迷	作家	[1864-1909]	生誕160年
宝生九郎重英	能楽師	[1900-1974]	没後 50年
吉本隆明	評論家	[1924-2012]	生誕100年

金沢三文豪

徳田秋聲

【とくだしゅうせい】(1871~1943)



徳田秋聲
明治42年『太陽』臨時増刊(個人蔵)

泉鏡花

【いづみきょうか】(1873~1939)



泉鏡花
明治42年『太陽』臨時増刊(個人蔵)

室生犀星

【むろおさいせい】(1889~1962)



室生犀星
(国会国会図書館 近代日本人の肖像)

金沢三文豪と称される徳田秋聲、泉鏡花、室生犀星の三人は、それぞれ文京区とも所縁の深い作家です。

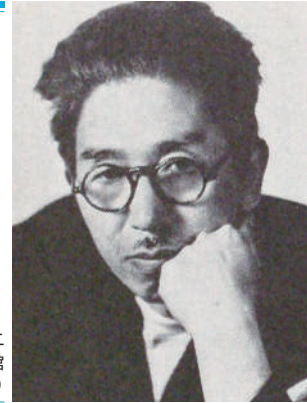
『薨』、『仮装人物』などの作品で知られる徳田秋聲(本名「末雄」)は、本郷区向ヶ岡弥生町、小石川区小石川原町などに居住し、本郷区森川町の家を終の棲家としました。昭和8年に発表された「和解」では、この家を舞台に泉鏡花との関係修復の様子が描かれるなど、本郷を舞台とする作品も数多く執筆しています。

『婦系図』、『天守物語』などの作品で知られる泉鏡花(本名「鏡太郎」)は、本郷区湯島天神下、本郷四丁目、龍岡町、湯島新花町、小石川区戸崎町などに居住し、小石川区大塚町の長屋では祖母、弟など家族と共に暮らしました。代表作『湯島詣』などの舞台となった湯島天満宮には、鏡花が使用した筆などを埋めた筆塚が、昭和7年に建てられています。

『愛の詩集』、『杏っ子』などの作品で知られる室生犀星(本名「照道」)は、本郷区根津片町、小石川区白山前町などに居住しました。金沢で知り合った誠之小学校出身の江南文三を頼って、森鷗外が後援した『スバル』にも作品を発表しています。『泥雀の歌』などの自伝的小説には、江南文三との交流など、犀星が文京区域で活躍する様子も描かれています。

竹久夢二

【たけひさゆめじ】(1884~1934)
画家・詩人



竹久夢二
(国会国会図書館 近代日本人の肖像)

岡山県邑久郡本庄村(現・瀬戸内市)に生まれ、「夢二式美人」と言われる画風を確立し、装幀、広告図案や日用雑貨のデザインをしたり、小説家としても活躍しました。明治34年(1901)に上京し、翌年、早稲田実業学校本科に入学。同38年に卒業し、同校専攻科に入学しますが4か月で退学。この頃から、新聞や雑誌などに絵を描くようになります。同40年、岸たまきと結婚。同41年から44年まで小石川区内に住みました。同42年に離婚、初の画集『夢二画集春の巻』を刊行。大正3年(1914)頃、笠井彦乃と知り合いました。彦乃は女子美術学校で学び、同6年、京都に行った夢二の後を追ひ、一緒に暮らすようになりました。翌年、彦乃が東京に連れ戻され、年末に順天堂医院に入院。夢二も東京に戻り、本郷の菊富士ホテルに移りました。同9年、彦乃が亡くなり高林寺(現・文京区向丘)に埋葬されました。同年、モデルの佐々木カ子ヨ(お葉)と一緒に暮らすようになり、翌年、菊富士ホテルを出ました。昭和9年(1934)、信州富士見高原療養所で逝去しました。

金栗四三

【かなくりしそ三】(1891~1983)
日本人初のオリンピックマラソン
競技ランナー



競技姿の金栗四三
『写真集 東京教育大学百年史』(文京ふるさと歴史館蔵)より

明治24年(1891)、熊本県玉名郡春富村(現・和水町)に生まれた金栗四三は、旧制玉名中学校(現在の熊本県立玉名高等学校と附属中学校)を卒業後に上京、本郷区(現・文京区)湯島に所在した東京高等師範学校(後に小石川区大塚に移転して東京教育大学と改称し、茨城県つくば市に移転した筑波大学)に入学しました。郷里では、通学時に山道を往復する日々で足腰が鍛えられ、後の長距離走競技者としての素地が育まれました。

金栗は明治44年(1911)に、翌年のスウェーデンのオリンピックストックホルム大会の予選会に出場し、当時の世界記録2時間32分45秒で優勝しました。ストックホルム大会では様々な要因が重なり競技中に気絶し、近隣住民に保護されて行方不明者扱いとなりました。金栗自身が棄権した訳でなかったことから、スウェーデンのオリンピック委員会の計らいで昭和42年(1967)、オリンピックストックホルム開催55周年記念の式典に招待され、金栗は競技場を周回し、ゴールしました。金栗の公式記録は54年8か月と6日5時間32分20秒3となり、マラソン完走最長時間のギネス世界記録に登録されています。

夏目漱石

【なつめそくせい】(1867~1916)
小説家



夏目漱石
(国会国会図書館 近代日本人の肖像)

江戸・牛込馬場下横町(現・新宿区喜久井町)生まれ。本名・金之助。帝国大学(現・東京大学)卒、愛媛県尋常中学校(のち愛媛県松山中学校)、熊本の第五高等学校で教師を務め、明治33~35年には英国に留学します。帰国後執筆された『吾輩は猫である』が好評を得て、その後『坊っちゃん』『草枕』『こころ』『明暗』ほか、現在も読み継がれる多くの名作を生み出します。また寺田寅彦、森田草平、鈴木三重吉、野上豊一郎、小宮豊隆、久米正雄、芥川龍之介ほか多くの作家を育てました。

文京区では白山御殿町をはじめ、小石川表町、駒込千駄木町、駒込西片町などに暮らしました。駒込千駄木町の家は、そこで執筆された『吾輩は猫である』にちなみ、後に通称「猫の家」と称されます(漱石以前に森鷗外も暮らしたその「猫の家」は現在、博物館明治村(愛知県犬山市)に移築されています)。

『吾輩は猫である』『三四郎』『それから』ほか、文京区を舞台とする名作も多くあります。

文の京ゆかりの文化人関連施設

公開時間や休館日などは、それぞれの施設にお問い合わせください。

- 徳田秋聲**
 - 徳田秋聲記念館
石川県金沢市東山1-19-1 TEL 076-251-4300
- 泉鏡花**
 - 泉鏡花記念館
石川県金沢市新町2-3 TEL 076-222-1025
- 室生犀星**
 - 室生犀星記念館
石川県金沢市千日町3-22 TEL 076-245-1108
- 竹久夢二**
 - 竹久夢二美術館
東京都文京区弥生2-4-2 TEL 03-5689-0462
 - 竹久夢二伊香保記念館
群馬県渋川市伊香保町伊香保544-119 TEL 0279-72-4788
 - 金沢湯涌夢二館
石川県金沢市湯涌町イ144-1 TEL 076-235-1112
 - 夢二郷土美術館 本館
岡山県岡山市中区浜2-1-32 TEL 086-271-1000
 - 夢二郷土美術館 夢二生家記念館・少年山荘
岡山県瀬戸内市邑久町本庄2000-1 TEL 0869-22-0622
- 金栗四三**
 - 金栗四三の生家
熊本県玉名郡和水町中林546 TEL 0968-34-3047(和水町社会教育課)
 - 金栗四三翁住家・資料館
熊本県玉名市上小田600 TEL 0968-73-2222(玉名市観光物産課)
- 夏目漱石**
 - 新宿区立漱石山房記念館
東京都新宿区早稲田南町7 TEL 03-3205-0209
 - 博物館明治村
愛知県犬山市内山1番地 TEL 0568-67-0314
 - 夏目漱石大江旧居
熊本県熊本市中央区水前寺公園21-16 TEL 096-385-2266
 - 夏目漱石内坪井旧居
熊本県熊本市中央区内坪井町4-22 TEL 096-325-9127